

輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



学びの秋の充実！無限の可能性!!東京 2020 パラリンピック閉会!!!

— Change (変革) ,Challenge (挑戦) ,Continue (継続) —

9月が始まって約一週間です。明日は、二十四節気という「白露」(はくろ)です。秋も本格的になり、草葉に露が白く見えるようになる頃ということです。確かに9月に入り雨の日が続きました。めっきり秋らしく涼しくなったように感じられます。自然の営みは確実に季節を刻んでいます。

さて、9月12日まで緊急事態宣言が延長されています。その動向については、注視していかなければならないところです。各地域でのワクチン接種も進んでおり一日も早い収束を願うところです。そのような中、2学期の大きな教育活動の「自然学校」「修学旅行」の説明会を8月の終わりに実施しました。この厳しい状況ではありますが、「**学びを止めない**」**出来る限り通常の教育活動の実施**を目指しております。ただ、説明会では、これらの教育活動については、状況を注視し、日程の変更も視野に入れていることをお話しさせていただきました。子供達の安全・安心な教育活動実施の為、今後ともご理解とご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

前回の学校通信で「子供達には『本気』を求めます。」というメッセージを届けました。2学期は一年の内で一番実り多い時期です。子供達が「本気」で取り組む活動が沢山あります。前回、紹介させていただいた相田みつをさんの詩「本気」にある「『本気』のあとのさわやかな」**気持ちが分かる経験**を是非、子供達に味わって欲しいと願っています。保護者の皆様にもこの気持ちはきっとお分かりいただけると思います。中学校、高校、大学の部活だけでなく、小学校の時の色々な経験、音楽会、運動会、マラソン大会等の学校行事だけでなく、日々の暮らしの中にある、本読み、読書、宿題、自学、授業への取組等、誰に何と言われようと、自分はこれだけは一生懸命やった、取り組んだ、最後まで続けた、そんな熱く懐かしい思い出を話してあげて

ください。学校でも「**学びの秋の充実**」を目指して、様々な取組を進めたいと考えています。子供達の確かな学力の向上を目指したいと考えています。

東京 2020 パラリンピックが昨日閉幕しました。金メダル13個、銀メダル15個、銅メダル23個、素晴らしい結果です。テレビや新聞で見るパラアスリートの皆さんの躍動する姿は本当にすごい!というのが実感でした。**人間の可能性と身体能力の高さを見せつけられた感じ**です。人間の体は、どんなに科学が発達しても未だに完璧なものは作ることは難しいものです。それほど精巧な人間の体。その一部分が全く機能しない、動かない、その部分がない、そのような様々な困難を乗り越え、多くの競技が行われていました。日本でパラリンピックが開かれているので、多くの場面を観戦することができました。以前、読んだこんなことを思い出しました。「パラアスリートは、自分の体のものでないものを自分の体の一部のように感じることができる。パラアスリート達は、例えば、走幅跳びの選手ならば義足など、本来、自分の体の一部分ではない物を装着しながら、まるで自分の体の一部のように感じることができるという。今、この瞬間、義足の親指側に力が入った、小指の方に力が入ったなどを感じるという。」のです。つまり、神経が通っていないものからの信号を受け取ることができるということです。正に体の一部分になっているということです。意識が繋がっているということです。研ぎ澄まされた能力が、限界を超えた力を、可能性を生んでいる。人間には、不可思議で神秘的な力があります。**ただ、その力は、私達が想像してなお余りある、ひたむきな、弛まぬ努力が生み出していることは間違いありません。**

緊急事態宣言発令の中、感染拡大防止の為、学校においても**感染症対策(朝の検温、マスクの着用【不織布のマスクが強く推奨されています。】、手洗い、手指の消毒、3密回避等)を徹底**していきます。保護者の皆様のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症についてご心配なことがございましたら遠慮なくご相談ください。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。